



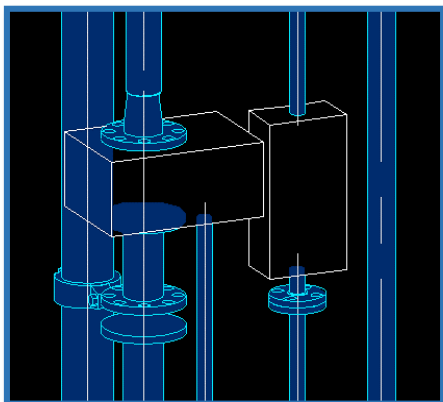
金属プレハブ 営業トピックス

Vol.10
2022.11

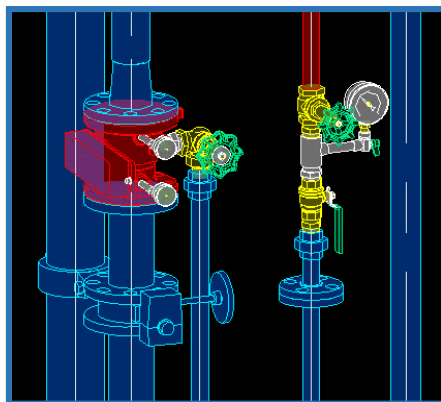
部材データ作成による正確性・視認性の向上

CADソフトの中にデータがない製品は、図面上で不完全な状態で表示されることが多く、情報なども正確ではありません。

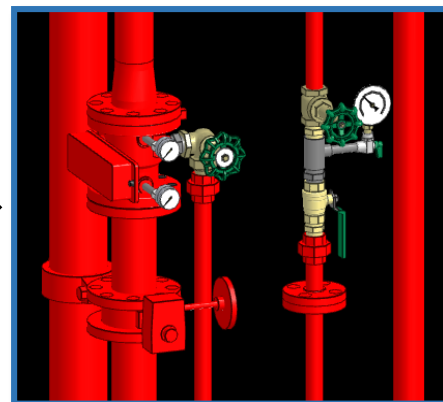
そこで当社では、3次元CADを活用し、図面上でも使用できる部材データの作成・登録に取り組んでおります。寸法や接続部の情報なども正確に作図をし、登録を行うことで、アラーム周り等の、寸法がシビアな配管を施工する際においても、データ上の寸法と実際の配管寸法が違うなどのミス在未然に防ぐことが可能です。



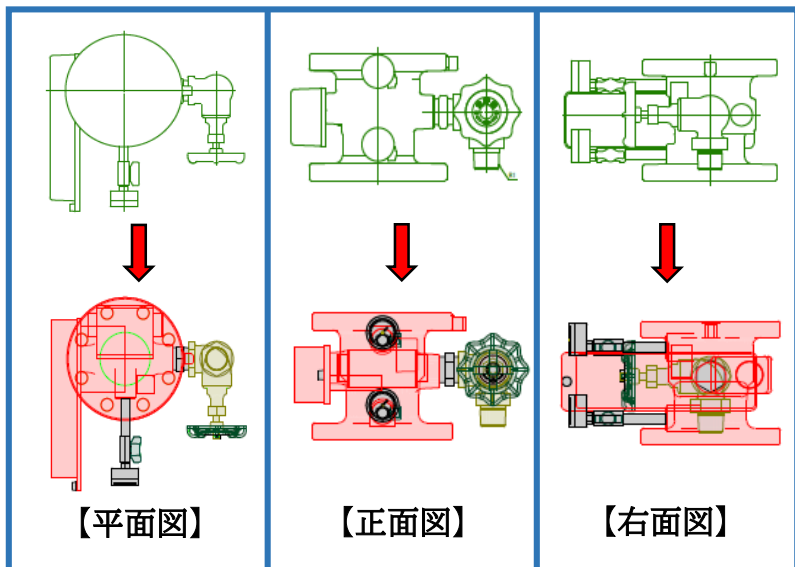
通常のデータでは、機器類などの部材はBOXで表示される為、寸法や接続部の情報が正確ではない場合があります。



作成した部材データを用い、表示することで、接続部の情報(継手・接続点など)を正確に表示することが可能になります。

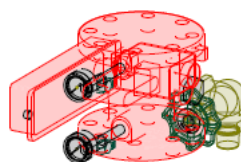


CGモードを使用することで、視認性がさらに向上し、納まりの確認や、干渉チェックも容易に行うことが可能です。



【製作事例】

東洋バルブ(株)様 10FAMF



2Dデータ(平面・立面図など)をメーカー様より頂戴し、正確な寸法で3Dデータ化しております。

栗井機鋼株式会社 BIM推進事業部

Tel : 03-4582-6077 E-mail : bimap@awai.co.jp